



身延清稜小だより

身延町立身延清稜小学校 TEL.0556-42-2520
令和4年3月18日 校長 佐野三代司
学校教育目標「進んで学び やさしい心もち
心身ともにたくましい児童の育成」

コロナ禍の令和3年度が終わります

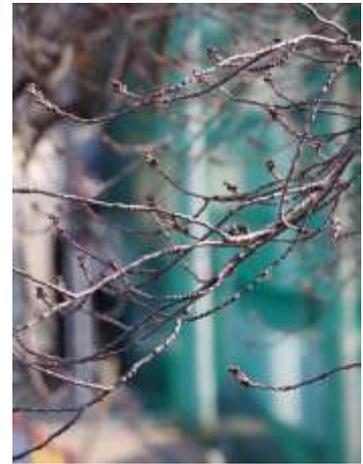
最近、すっかり日が長くなりました。風が冷たい日もありますが、春の到来の近さを感じられます。私が子どもの頃からある、校庭の古い桜のつぼみも膨らみ始めています。

学校は、1年間のまとめの時期を迎えています。52人の児童全員が、保護者の皆さん、地域の皆さんの温かいご理解とご支援の中で、この時期を元気に迎えられることを、心より感謝申し上げます。

この1年間を振り返ると、昨年度からのコロナウイルス感染症拡大の影響を受け、今年度も教育活動の変更が続いた1年であったと思います。運動会は昨年同様午前中のみ、修学旅行は延期(12月に無事実施)、授業参観も2回見送りをさせていただきました。

既に、コロナウイルス感染症防止対策が始まり、丸2年が経過しています。感染症対策を万全にし、全職員で知恵を出し合い、様々な工夫をして実施してきた教育活動でしたが、子どもたちに我慢を強いる日々が延々と続いています。いつになったら、元のような生活が戻るのか、まだまだ先を見通すことができません。

しかし、子どもたちの頑張り、保護者の皆さんのお陰で、何とか年度末を迎えることができています。これまでのご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。



卒業証書授与式を迎えて～7名の卒業生おめでとう～

来週23日(水)には、卒業証書授与式を行います。6年間小学校に通い続けた卒業生の巣立ちの日まで、本当にあとわずかとなりました。卒業生7名は、これまでの小学校生活の集大成として、話の聞き方、歩き方、礼の仕方に至るまで、担任の先生の指導を受けながら式の練習に頑張っています。卒業生は、小学校生活の最後の1年間の毎日を、コロナ禍に負けず、一段と輝くものにしてくれました。深く考え、学び合う授業での姿、運動会で見せた抜群のチームワーク、修学旅行での楽しい思い出。私の心の中にも深く刻まれています。毎日の生活においても、下級生に良い手本をたくさん見せてくれました。

学校では、卒業証書授与式を「最後の授業」と考えています。小学校で学んできたこと全てが発揮できる場、となるようにしたいものです。学校には、いくつもの儀式的な行事がありますが、その中でも一際、卒業証書授与式の占める位置は大きいものがあります。小学校を巣立つ卒業生に、小学校課程の修了を表す卒業証書を渡すのはもちろんですが、未来への希望や期待、感謝の気持ちをもたせる機会です。学校で6年間育ててきた卒業生の晴れの姿を、保護者の方に、地域の方にご覧いただく場でもあります(残念ながら今回ご来賓は1名のみですが)。



下級生も卒業生から多くのことを学んできました。23日は卒業生と在校生の最後のふれあいになりますので、温かい気持ちを、子どもたち全員がもってくれることを願っています。

卒業生をはじめとする子どもたち、また保護者の方々と感動を分かち合い、卒業生を身延清稜小から送り出したいと思います。卒業生のこれまでの努力と輝く未来に、エールを送ってくださいますようお願いいたします。

心温まる「6年生を送る会」ができました

3月4日(金)、実行委員会主催による「6年生を送る会」が開かれました。5年生を中心として「お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えよう」と企画されたものです。今回は、感染症対策と両立させるために、体育館いっぱいを整列し、換気も十分確保した上で工夫した形での実施となりました。6年生クイズ、ゲーム、6年間の思い出スライド、在校生全員からのプレゼントと、盛りだくさんの内容で、時間が短く感じられる心温まる会となりました。小さな学校ならではの、卒業を祝う気持ちと感謝が十分に伝わった「6年生を送る会」でした。



3月3日、久しぶりに全校児童52人が揃いました。
みんなで今年度最後の集合写真です。

有意義な春休みに

学年が変わる春休みです。短い休みですが、日々の過ごし方に気をつけ、4月から新学年での良いスタートを切りたいものです。

- 規則正しい生活を心がけ、感染症・ネット依存から心身の健康を守る
 - 事故や犯罪から身を守る
 - 家庭での学習(復習)、家読に取り組む
 - 学用品を整理し、新学年の準備をする
- これらを心がけ、4月6日には、元気に登校できるようにお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様には、学校を支えていただき本当にありがとうございました。4月からも職員一丸となって、子どもたちの教育に努めてまいります。

今後、これまで同様、身延清稜小への変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。

